

さくらんぼ病害虫防除暦

回数	防除時期	対象病害虫	薬剤名(RACコード)	倍率(100ml当り薬量)	収穫前日数	回数	10a散布量	摘要		
1	発芽前	カイガラムシ類	スフレーオイル 又は ハーベストオイル	50倍	2日	発芽前	一	350ml	①薬剤の調整は散布直前に行い、十分な量の水にオイルを希釈した後に、石灰硫黄合剤を加える。 また葉害防止のため攪拌しながら散布する。 ②カイガラムシ類の発生が多い園では、スフレーオイル50倍 + アプロードフロアブル1,000倍(7日前まで、2回)を枝幹部に散布する。 ③散布が遅れた場合は、スフレーオイル100倍(発芽後2週間まで、一)で対応する。 ④コスカシバの発生が多い園では、フェニックスフロアブル500倍(開花期まで、1回)を枝幹部に単用散布する。	
		カイガラムシ類 ハダニ類 越冬病害虫	石灰硫黄合剤	10倍	10日	発芽前	一			
訪花昆虫の保護 ・ミツバチの巣箱を撤去するまで、殺虫剤(BT剤を除く)と殺ダニ剤の散布を行わない。 ・防除は、出来る限り早朝か夕方に実施し、巣箱や訪花昆虫に直接薬液がかからないようにする。										
2	開花直前 (風船状態、 はしりの花が 数個咲いた 時)	灰 星 病 の 重 点 防 除	褐色せん孔病 炭疽病、灰星病 幼果菌核病	トレーナックスフロアブル (ジチオカーバメートM03)	500倍	200 ml	21日前まで	5回以内 (萌芽後は 2回以内)	400ml	樹脂細菌病対策 1. 11月上旬～12月上旬にICポルドー66D 40倍を散布する。 2. 樹脂漏出部の削り取りを徹底する。 3. 剪定後の切り口に、可能な限りゆ合剤を塗布する。 散布ムラが出ないよう丁寧に散布する。
		ハマキムシ類	バイオマックスDF	2,000倍	50 g	発生初期 但し、 収穫前日まで	一			
3	満開期 (8割咲いた 状態)		灰星病 せん孔病 幼果菌核病	トップジンM水和剤 (MBC剤1)	1,500倍	66 g	14日前まで	3回以内	500ml	①開花期間中に降雨が続きそうな場合、前年幼果菌核病の発生が多かった園は必ず散布する。 ②展着剤を加用せずに単用散布する。
4	満開3日後		展着剤(ハイテンパワー)	5,000倍	20 ml	—	—	500ml	ハマキムシ類の発生が多い園では、バイオマックスDF 2,000倍(収穫前日まで、一)を散布する。	
			灰星病、炭疽病 褐色せん孔病 幼果菌核病、黒斑病	ナリアWDG ※ (Qol剤11 + SDHI剤7)	2,000倍	50 g	前日まで	3回以内		
5	5月上旬 (満開10～15日 後)		展着剤(ハイテンパワー)	5,000倍	20 ml	—	—	500ml	ハマキムシ類の発生が多い園では、ミツバチの巣箱を撤去してから、フェニックスフロアブル4,000倍(収穫前日まで、2回以内)を加用して散布する。	
			灰星病、炭疽病 褐色せん孔病	オーネサイド水和剤80 (フタレイミドM04)	800倍	125 ml	3日前まで	5回以内		
6	5月中旬		カイガラムシ類 カメムシ類 オウトウショウジョウバエ	モスピラン顆粒水溶剤(劇) (ネオニコチノイド剤4A)	2,000倍	50 g	前日まで	1回	500ml	①樹脂細菌病による漏出を確認したら、直ちに削り取り癒合剤を塗布する。
			灰星病	スコア顆粒水和剤 (DMI剤3)	2,000倍	50 g	前日まで	3回以内		
7	5月下旬		ハダニ類	スターマイクロアブル	2,000倍	50 ml	前日まで	1回	500ml	コスカシバ雄成虫の見られる園は、5月下旬にスカシバコンLを10aあたり40～100本(成虫発生初期から終期)設置する。
			灰星病、幼果菌核病 褐色せん孔病	ファンタジスタ顆粒水和剤 (Qol剤11)	3,000倍	33 g	前日まで	3回		
8	6月上旬 (着色始期)		灰星病 幼果菌核病	インダーフロアブル (DMI剤3)	5,000倍	20 ml	前日まで	2回以内	400ml	この回より収穫終了まで展着剤を加用しないこと。 ①灰星病の発病果、ショウジョウバエの被害果の摘み取りを徹底する。 ②オウトウショウジョウバエの発生が見られる園では、収穫2～3日前に防除剤を散布する。
			オウトウショウジョウバエ	ディアナWDG ※ (スピシン剤5)	10,000倍	10 g	前日まで	2回以内		
9	6月中旬		オウトウショウジョウバエ	アーテントフロアブル (合成ビレスロイド剤3A)	4,000倍	25 ml	前日まで	3回以内	400ml	③オウトウショウジョウバエの発生が多い園では、収穫が合成ビレスロイド剤、エクシレルSE、ディアナWDGの散布10日後まで完了しない場合、又はネオニコチノイド剤の散布7日後まで完了しない場合は、さらに防除剤を散布する。
			灰星病、幼果菌核病	パレード15フロアブル (SDHI剤7)	2,000倍	50 ml	前日まで	2回以内		
10	6月下旬		灰星病、炭疽病 褐色せん孔病 幼果菌核病、黒斑病	ナリアWDG ※ (Qol剤11 + SDHI剤7)	2,000倍	50 g	前日まで	3回以内	400ml	④オウトウショウジョウバエ ケムシ類
			オウトウショウジョウバエ ケムシ類	エクシレルSE (ジアミド剤28)	2,500倍	40 g	前日まで	3回以内		
特別	7月上旬		灰星病、炭疽病 褐色せん孔病、黒斑病	オンリーワンフロアブル (DMI剤3)	2,000倍	50 ml	前日まで	3回以内	400ml	紅秀峰などの晩生種植栽培園地では、ショウジョウバエ類の発生状況を見ながら散布する。
			ハダニ類 カメムシ類 ショウジョウバエ類	テルスター フロアブル(劇) (合成ビレスロイド剤3A)	4,000倍	25 g	前日まで	2回以内		
11	収穫直後		展着剤(アピオンE)	1,000倍	100 ml	—	—	600ml	①降雨が続く場合には、被覆を除去する前に防除を実施する。 ②せん孔病対策として、収穫直後なるべく早く散布ムラのないよう丁寧に散布する。 ③ケムシ類の発生が多い園地では、スミチオン水和剤40 800倍(収穫14日前まで、2回以内)を散布する。	
			せん孔病	オキシラン水和剤	600倍	166 g	収穫終了後～落葉期まで	3回以内		
12	7月中～下旬		褐色せん孔病 炭疽病、灰星病 幼果菌核病	トレーナックスフロアブル (ジチオカーバメートM03)	500倍	200 ml	21日前まで	5回以内 (萌芽後は 2回以内)	600ml	ハダニ対策： ・多発する前にダニ剤を散布する。(ヒコバエや主幹部の豆葉で初発を確認する) ・十分な薬量を準備し、カケ残しがでないように散布する。 その後もハダニ類が多発する場合には、コロマイト乳剤1,000倍(収穫7日前まで、1回)を展着剤を加えず単用散布する。
			ハダニ類	マイトコーネフロアブル	1,000倍	100 ml	14日前まで	1回		
13	8月上～中旬			バイカルティ	1,000倍	100 ml	—	—	600ml	①ハダニ類の発生が見られる場合は、ダニゲッターフロアブル2,000倍(収穫前日まで、1回)を散布する。なお14回目のボルドー液との間隔を2週間以上あける。 ②アプロードフロアブルは散布時期が遅れることがないよう留意する。 ③アプロードフロアブルは生育期の庄内柿に散布すると葉害が発生する恐れがあるため、飛散しないようにする
			せん孔病	ドキリンフロアブル	800倍	125 ml	収穫終了後～落葉期まで	3回以内		
14	9月上～中旬		カイガラムシ類幼虫	アプロードフロアブル	1,000倍	100 ml	7日前まで	2回以内	600ml	①樹脂細菌病が発生している園地では、主幹部や太枝を葉液で洗うように丁寧に散布する。
			褐色せん孔病 灰星病 樹脂細菌病	ICポルドー66D	40倍	2.5 kg	—	—		
15	9月中旬～10月中旬		コスカシバ	トラサイドA乳剤	200倍	500 ml	収穫後～萌芽前 (幼虫食入期)	1回	400ml	樹幹及び主枝に十分散布する。 ①降雨明けの枝幹が湿っている状態で散布すると効果が高い。 ②葉にかかると葉害が発生するので、落葉前に散布する場合は枝幹にのみ散布する。
16	11月上旬～12月上旬		褐色せん孔病 灰星病 樹脂細菌病	ICポルドー66D	40倍	2.5 kg	—	—	500ml	①樹脂細菌病が発生している園地では、主幹部や太枝を葉液で洗うように丁寧に散布する。 ②カイガラムシの発生が見られる場合には、休眠期に寄生部位をブラシかけを行うか高圧水で洗い流す。

ラベルを必ず確認し、登録内容(倍率、収穫前日数、回数など)を遵守してください！また器具の洗浄は十分に行ってください。

曆にない薬剤を使う場合は必ず指導員に相談してください。

※ WDG剤(ナリアWDG・ディアナWDG)は、さらさらとゆっくりとタンクの水に投入すると溶け易い。一度に水に入れると固まるので注意すること。

住宅地における農薬使用について

農薬使用者は住宅地において農薬の飛散防止措置を講ずるよう努めなければならないと規定されています。これを受け、公共施設・住宅地に近接する場所における病害虫の防除については極力、農薬散布以外の方法をとって下さい。ただし、やむを得ず農薬を使用しなければならない場合は注意事項(散布に関する事前の周囲への周知、飛散防止のための天候や時間帯に関する配慮)などの遵守に努め住民の健康に被害を及ぼすことのないように最大限配慮するようにしてください。